

## 地域と共に行う避難訓練 ～生徒の主体性を活かしながら～

### 長洲町立長洲中学校

本校では、平成27年より、地域と共に津波避難訓練を実施しています。この避難訓練は、地域と共に安全な学校をめざす実践の一つであるのはもちろんですが、それだけがねらいではありません。中学生の主体性を活かし、生徒の防災意識や自己肯定感を高める実践であることが最大の特徴なのです。

この地域と共に行う避難訓練は試行錯誤の中からはじまった訓練でもあります。それゆえに、訓練をやることで見えてくる新たな課題をもとに改善していくことを大切にしています。避難訓練の改善点を教師と地域の代表が検証するだけでなく、本校の生徒会でも課題を取り上げ、生徒も検証作業に参画させています。そうすることで、単に指示に従い静かに避難するだけでなく、主体的に判断したり、積極的に活動できたりする生徒の育成をめざしているのです。

#### 1 訓練の実際

訓練では有明海で震度7の地震が発生し津波警報が発令されと想定し、長洲中の屋上に生徒と共に長洲保育園児・幼稚園児・地域の方が避難しました。本校の生徒は、一端運動場に避難したあと、自分が避難すると共に、園児の手をひいたり、抱っこしたりして屋上に避難しました。また、地域のお年寄りの手をひいて避難する生徒の姿も見られました。



#### 2 生徒の成長

このような避難訓練を繰り返し行くと、生徒の防災に関する意識も変わってきたように思います。本校では、地区ごとの生徒会を3ヶ月に一度行っていますが、その会の中で、それぞれの地区で危険箇所を洗い出し、防犯灯が必要な道路を選定し、生徒会から長洲町に防犯灯の設置を要望するという活動が行われるようになりました。

また、平成29年7月に行われた長洲町社会を明るくする運動大会で、本校生徒会が、これまで地域と共に行ってきた避難訓練についての発表を行うこともできました。